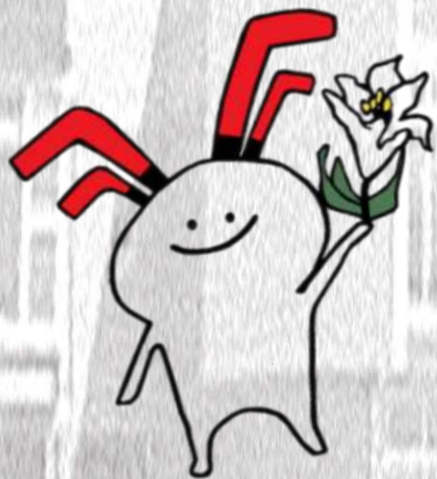




**探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業
令和4年度取組まとめ**



府中市立府中学園

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	特別支援	合計
児童生徒数	74	75	84	86	74	96	94	76	96	58	813
学級数	3	3	3	3	2	3	3	2	3	10	35

学級数：35学級

児童生徒数：813名



◎学校教育目標

「郷土を愛し，世界へ目を向け行動できる児童生徒の育成」

◎研究主題

「学び続ける児童生徒の育成
～ 探究的な学習の単元改善・実践を通して～」

研究の柱

①

総合的な学習の時間「全体計画」の見直し

～ 資質・能力，観点等の再整理，探究活動を充実させるための指導と評価の一体化 ～

研究の柱

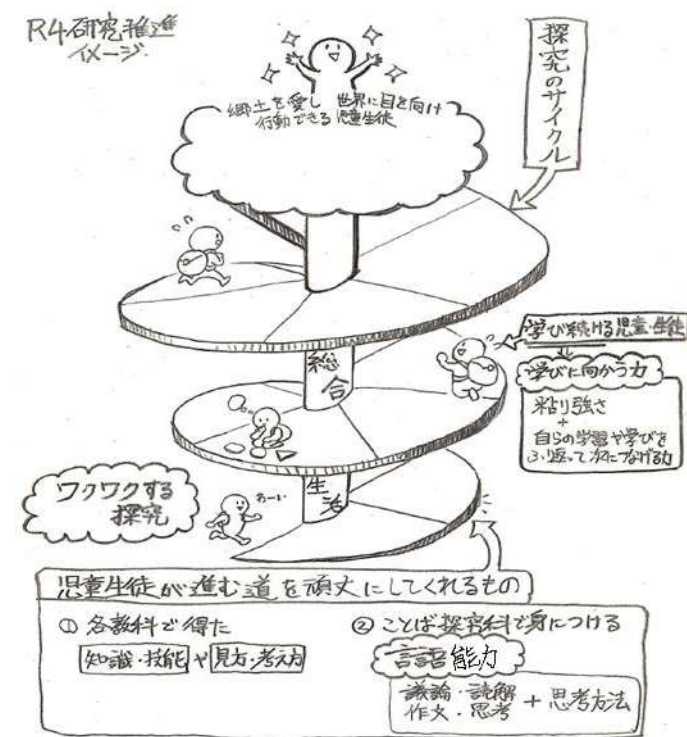
②

PBL（プロジェクト型学習）の考え方を参考にした，
総合的な学習の時間の単元開発・改善・実践

～ 教師は主導するのではなくファシリテーターに！ 児童生徒がつくり出す授業づくり ～

① 第1回校内研修（令和4年4月20日）

- 本事業の説明
- 生活科・総合的な学習の時間の開始に向けて
- 探究，PBLについて
- 課題設定に向け，ウェビングマップを用いた学習の広がり予想(各学年)



② 学校視察（令和4年5月24日）

鳥取 青翔開智中学校・高等学校

青翔開智中学校2年生 『探究基礎』の授業参観



職場体験学習を探究にするための、課題発見の方法を学ぶ



府中市『キャリア体験学習』へ



③第1回研究推進協議会 研究報告内容

③第1回研究推進協議会 研究報告内容

これまでの取組内容 (令和3年度までの取組)

○ **単元開発**

→ PBL, 生活科及び総合的な学習の時間

○ **資質・能力の育成に向けた手立て**

→ 学校で定める意識すべき資質・能力の設定

○ **校内研修の充実**

→ ロイロノートスクールの活用, 自己調整学習

○ **自己調整学習の推進**

→ 計画・振り返り・修正, 各学年各教科で実施

③第1回研究推進協議会 研究報告内容

(1) 生活科・総合的な学習の時間の 課題

全体計画について、昨年度の計画を見直すため旧学年主任を中心に昨年度の学習での課題点を確認。(4月)

「教師のテーマのとらえ方」

「学習の展開をすべて教師が用意した」

「探究の過程の意識が不十分」



**主体的に課題設定をさせるために、
テーマ(問題)と子どもをどう出会わせるか、何を学ばせるのか**

③第1回研究推進協議会 研究報告内容

(2) 課題を踏まえ、6月までに取り組んだ内容

①4月20日(水)職員全体研修 実施

- ・生活科・総合的な学習の時間の課題について
→ 教師主導× , 探究のサイクルを意識 , 評価規準の見直し
- ・生活科・総合的な学習の時間の開始に向けて
→ 各学年のテーマ設定 , 意識統一
- ・「学習計画」「振り返り」に焦点を当てて学習を行う
→ 探究の過程で特に力を入れる

③第1回研究推進協議会 研究報告内容

(2) 課題を踏まえ、6月までに取り組んだ内容

②広島県立教育センター 学校サポート申し込み(年間5回)

第1回...6月13日(月)

・6年1組授業参観 + 指導助言

第2回...7月28日(木)

・授業づくりのポイントについて(理論研修)

第3回...8月26日(金)

・学習指導案検討(理論研修)

第4回...9月21日(水)

・5年1組授業参観 + 指導助言

第5回...1月25日(水)

・来年度の全体計画などの練り直し等(理論研修)

③第1回研究推進協議会 研究報告内容

(3) 探究型職場体験にするための指導の工夫

～青翔開智中学校・高等学校の視察から～

【今年度、8年生で実施する職場体験学習】

- 『探究型職場体験』の実施
 - …仕事の体験だけでなく、職場体験を通して“課題”を発見
 - 職場体験後も課題の“解決”に向け“提案”を行う

(3) 探究型職場体験にするための指導の工夫

～青翔開智中学校・高等学校の視察から～

今年度8年生の総合的な学習の時間で新たに取り組むこと

- ①「働く」をテーマに、PBL(プロジェクト型学習)を取り入れた課題発見解決型の授業を進める
- ②企業の「課題」を見つけられるよう、まず学年の「課題」を発見することで、探究の方法を学ぶ
- ③体験中に見つけた「課題」の解決案を発表する場面を設ける = 「最適解」の構築(新しい価値)

これまでの“こなす”学習ではなく
本事業のテーマである『**本物の探究**』を目指す

中学2年生 探究 2019年12月20日

課題解決型職場体験

デザイン思考で企業の課題を解決する

共感フェーズ
社長へのインタビュー
お客様の行動観察等をおして企業に関わる人々の気持ちを理解し共感します。

問題定義フェーズ
創造フェーズ
企業の課題を発見しその課題を乗り越えるアイデアを創造的思考で考えます。

プロトタイプフェーズ
テストフェーズ
様々な材料で試作品を作りテストをします。

若き創造力が企業の課題を乗り越える
14歳の経営コンサルタントたちが鳥取の未来を変える

中学2年生の「探究」は職場体験です。ただの職場体験ではありません。デザイン思考のフレームワーク(考え方の枠組み)を使って企業の課題を生徒自らが発見し、その課題の解決をおこないます。飲食店へ新規メニューの提案、保険会社へICTを使った働き方の提案など、中学生コンサルタントならではの提案がされました。今年度は市場情報システム MieNa を使い、商情情報データを課題解決に活用しました。「鳥取は仕事が無いから、地元に戻りたくても帰れない・・・。」そんなことを考える県外の若者たちも多いようです。仕事が無いなら創ってしまおう！中学生の頃からアントレプレナーシップ(起業家精神)を育むことで将来あなたはどこにおいても活躍できるのです。

- 1 デザイン思考
スタンフォード大学
D.schoolなどで実践されている
創造的課題解決手法。
- 2 職場体験
飲食業、建築業、保険会社
などの企業10社へ訪問。
職場体験、社長インタビュー
などを実施。
- 3 鳥取青年会議所
企業の選定には若手起業家・
経営者の企業が加盟する鳥取青年
会議所様にご協力いただきました。

探究チーム(4人)でポスターを作成・発表

③第1回研究推進協議会 研究報告内容

今年度の取組内容

○総合的な学習の時間の全体計画の見直し

…本校で育成したい資質・能力の「再整理」

○ PBLの考え方に沿って探究的な学習の単元改善・実践

○ 総合的な学習の時間の全体計画の見直し

※不十分な部分の加筆・修正

※複雑化した内容を簡潔に！

国立教育政策研究所
「『指導と評価の一体化』の
ための学習評価に関する
参考資料」をもとに、全体計
画の見直し(改善)を行う！

総合的な学習の時間の整理と見直しのための資料

令和3年1月15日

【学校の目標】 探究的な見方・考え方を働かせ、地域の人・もの・ことに関わる探究的な学習を通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地域の人・もの・ことに関する探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識・技能を身に付けるとともに、探究的な学習のよさを理解する。	地域の人・もの・こととの関わりの中から、課題を見出し、その解決に向けて情報を収集し、調査して得た情報を基に整理分析し、まとめ・表現する力を身に付ける。	地域の人・もの・ことに関する探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら自分の生き方を考え、社会に参画しようとする態度を育てる。

【学校で設定した目標が示している本校の総合的な学習の時間の特徴】

- 本校の総合的な学習の時間の全単元は、「地域のひと・もの・こと」が学習対象となっている。
- 地域とは、主として「府中市」であるが、「広島県」「日本」「世界」に拡大解釈することも可能とする。
- 探究的な学習に臨む児童には、主体性及び協働性の二つの側面を育成する。
→「主体的に学習に取り組む態度」に具体的な姿として示す。
- 「自己の生き方を考えさせること」は全単元で必ず行う。
→「主体的に学習に取り組む態度」に具体的な姿として示す。
- 「よりよく問題を解決し」とは、解決の筋道がすぐには明らかにならない課題や、唯一の正解が存在しない課題などについても、自らの知識や技能を総合的に働かせて、目の具体的な課題を粘り強く対処し解決しようとする姿である。

【各学年の目標及びその作成のための評価規準】

■知識・技能■

3年	4年	5年	6年
【知識】 ※	【知識】 ※	【知識】 ※	【知識】 ※
【技能】 ※※	【技能】 ※※	【技能】 ※※	【技能】 ※※
【探究的な学習のよさの理解】 探究的に学習したこと で、○○(学習対象)に ついての知識又は技能 が身に付いたと気付い ている。	【探究的な学習のよさの理解】 探究的に学習したこと で、○○(学習対象)に ついての知識又は技能 が身に付いたと気付い ている。	【探究的な学習のよさの理解】 探究的に学習してき たこと で○○(学習対象)に ついての認識が高ま ったり改まったと気付 いている。	【探究的な学習のよさの理解】 ○○(学習対象)につ いて探究的に学習した こと で、自分の資質・能力 や生活との繋がりが変 容したと気付いている。

7年	8年	9年
【知識】 ※	【知識】 ※	【知識】 ※
【技能】 ※※	【技能】 ※※	【技能】 ※※
【探究的な学習のよさの理解】 ○○(学習対象)につ いて探究的に学習した こと で、自分の資質・能力 や生活との繋がりが変 容したと気付いている。	【探究的な学習のよさの理解】 探究的に学習した成 果として、○○(学習 対象)に ついての知識又は技 能が身に付いた(意識・ 考え方が変容した)と 気付いている。	【探究的な学習のよさの理解】 探究的に学習した成 果として、○○(学習 対象)に ついての知識又は技 能が身に付いた(意識・ 考え方が変容した)と 気付いている。

※ 知識の概念化

- それぞれの学年の学習対象と学習課題によって○○や△△、～には言葉が入る。
- 概念化とは、事実に関する知識を関連付けて構造化し、統合された概念として形成されることをいう。わかりやすく言うと、複数の事例から共通点を抜き出し、その共通点を一つの言葉でくくることを意味します
- 経験が単なる経験で終わるのではなく、丁寧に経験を概念化『する』人は、経験が応用可能な思考として蓄積されます。このような状態を総合的な学習では目指しているということです。
- 概念化の具体的な例として6つをあげています。この6つは、取り扱う探究課題によってあてはまりやすいものとあてはまりにくいものがあります。最もあてはまりやすいものや、重点的にとりあげないもの一つを選んで、評価規準(児童の姿)を設定してください。

○ PBLの考え方に沿って探究的な学習の単元改善・実践

「探究」を意識!

児童生徒が
つくり出す

教師主導



ファシリテーター

「**わくわくする探究**」を目指して!

④ 学校サポート1（令和4年6月13日）

- 授業参観(6年1組)

- 事後協議

- 指導助言 広島県立教育センター 指導主事 長野真美

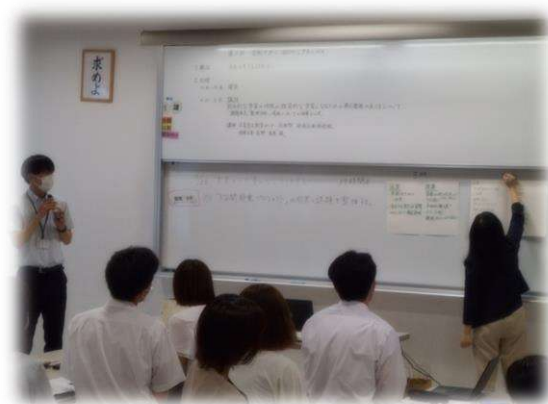


⑤ 学校サポート2（令和4年7月28日）

• 全体講話

「総合的な学習の時間が探究的な学習になるための単元開発の在り方について」
～「課題発見」「整理・分析」場面における指導の工夫～

講師 広島県立教育センター 指導主事 長野真美



⑥ 第2回研究推進協議会（令和4年8月1日）

- 研究報告
- 演習形式による指導助言

広島県東部教育事務所 指導主事 堂久保 敬太

指導助言内容

- ①「本物の探究」にするために、どのように児童生徒主導の学習にしていくか
- ②単元計画の書き方のポイント(表現の仕方, 視点などの改善点)

⑥第2回研究推進協議会 研究報告内容

⑥第2回研究推進協議会 研究報告内容

1 今年度の取組の進捗状況について

- (1) 総合的な学習の時間の全体計画の見直しについて
- (2) 今年度、新しく開発を行っている単元の実践紹介

2 今年度の取組について

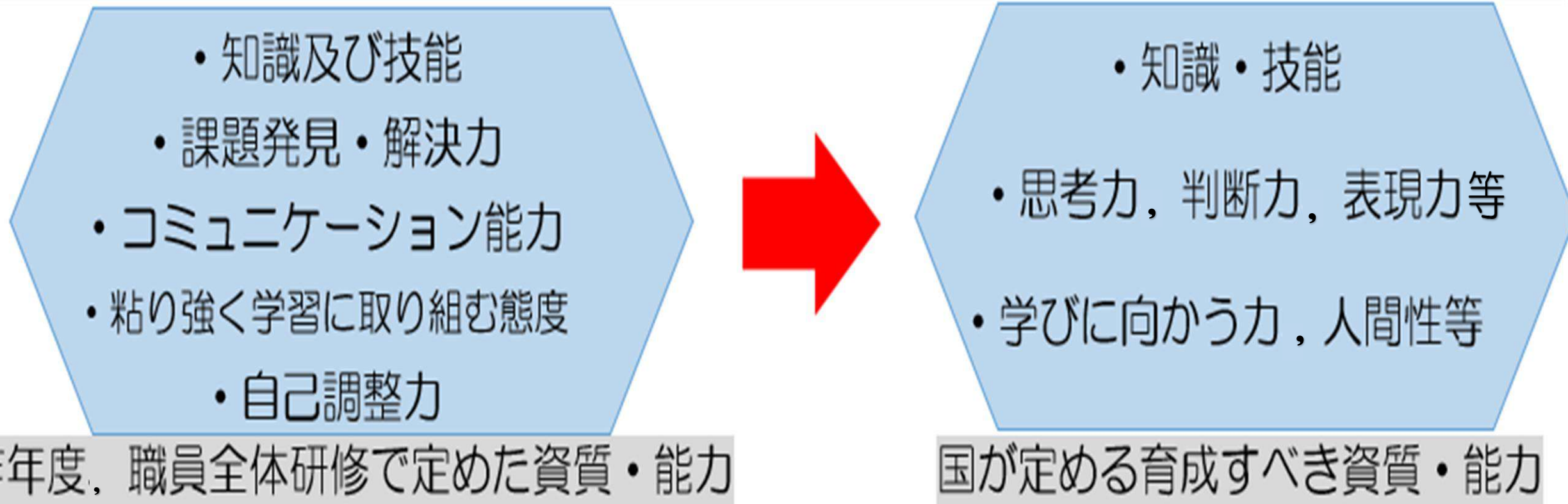
- (1) 自己調整力の育成について
- (2) 教職員の声より

⑥第2回研究推進協議会 研究報告内容

1 今年度の取組の進捗状況について

(1)総合的な学習の全体計画の見直しについて

全体計画で見直すポイント【資質・能力の再整理】



⑥第2回研究推進協議会 研究報告内容

1 今年度の取組の進捗状況について

【資質・能力の再整理】

☆見直し後 府中市立府中学園 生活科及び総合的な学習の時間における資質・能力と観点の構成要素

資質・能力	知識及び技能		思考力、判断力、表現力等				学びに向かう力、人間性等		
	観点の構成要素	知識	技能	課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現	自己理解 他者理解	主体性 協働性

探究の4つの過程

⑥第2回研究推進協議会 研究報告内容

1 今年度の取組の進捗状況について

(2)今年度, 新しく開発を行っている単元の実践紹介

**第6学年 「備後国府」遺産発掘プロジェクト
～府中の宝を未来へつなごう！広がる輪！～**

**第8学年 府中市「キャリア体験学習」
～企業・しごとを知り, 創造力を働かせる～**

⑥第2回研究推進協議会 研究報告内容

1 今年度の取組の進捗状況について

【内容】

備後国府の発掘調査に関わったり、備後国府の歴史や文化の伝承に向けた取組を行ったりすることを通して、自分が住む地域で生まれ受け継がれてきた歴史や文化を理解し、その伝承に取り組む人々の思いや願いに気づき、その伝承を願って地域の一員としてできることを考えるとともに、自らの生活や行動に生かすことができるようにする。



第6学年「備後国府」遺跡発掘プロジェクト～府中の宝を未来へつなごう！広がる輪！～

⑥第2回研究推進協議会 研究報告内容

1 今年度の取組の進捗状況について



第6学年「備後国府」遺跡発掘プロジェクト～府中の宝を未来へつなごう！広がる輪！～

⑥第2回研究推進協議会 研究報告内容

1 今年度の取組の進捗状況について



第6学年「備後国府」遺跡発掘プロジェクト～府中の宝を未来へつなごう！広がる輪！～

⑥第2回研究推進協議会 研究報告内容

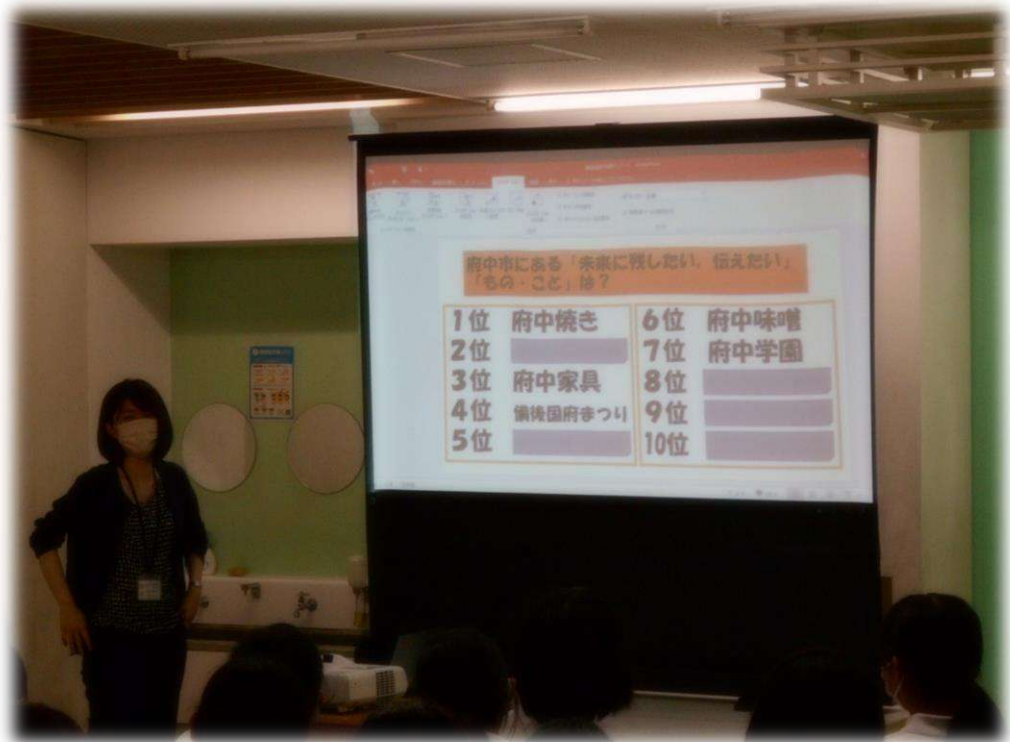
1 今年度の取組の進捗状況について



第6学年「備後国府」遺跡発掘プロジェクト～府中の宝を未来へつなごう！広がる輪！～

⑥第2回研究推進協議会 研究報告内容

1 今年度の取組の進捗状況について



府中市に関するアンケート

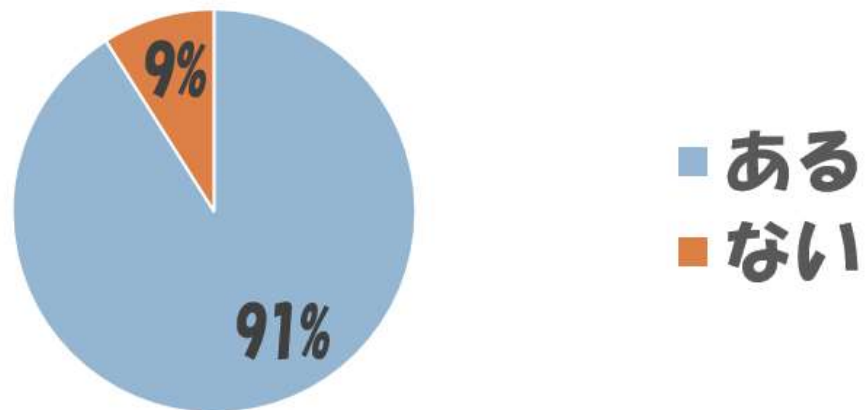
7～9年生（227人）にききました！！

第6学年「備後国府」遺跡発掘プロジェクト～府中の宝を未来へつなごう！広がる輪！～

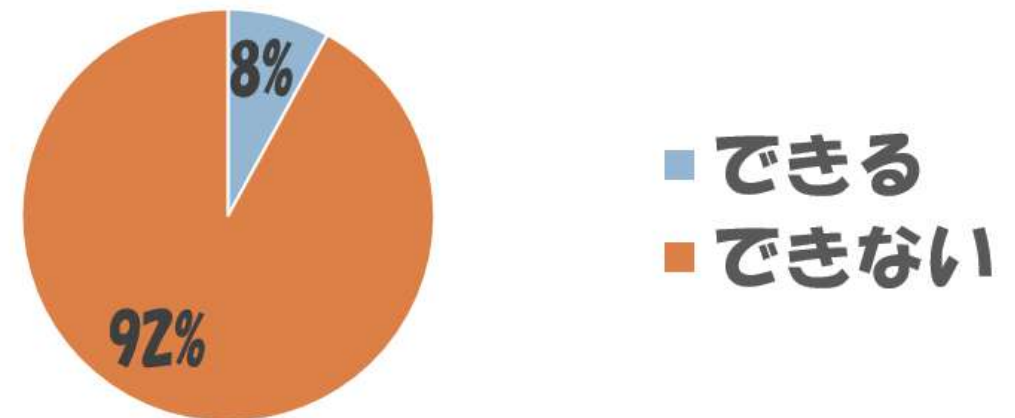
⑥第2回研究推進協議会 研究報告内容

1 今年度の取組の進捗状況について

「備後国府」という言葉を聞いたことがありますか？



「備後国府」について説明できますか？

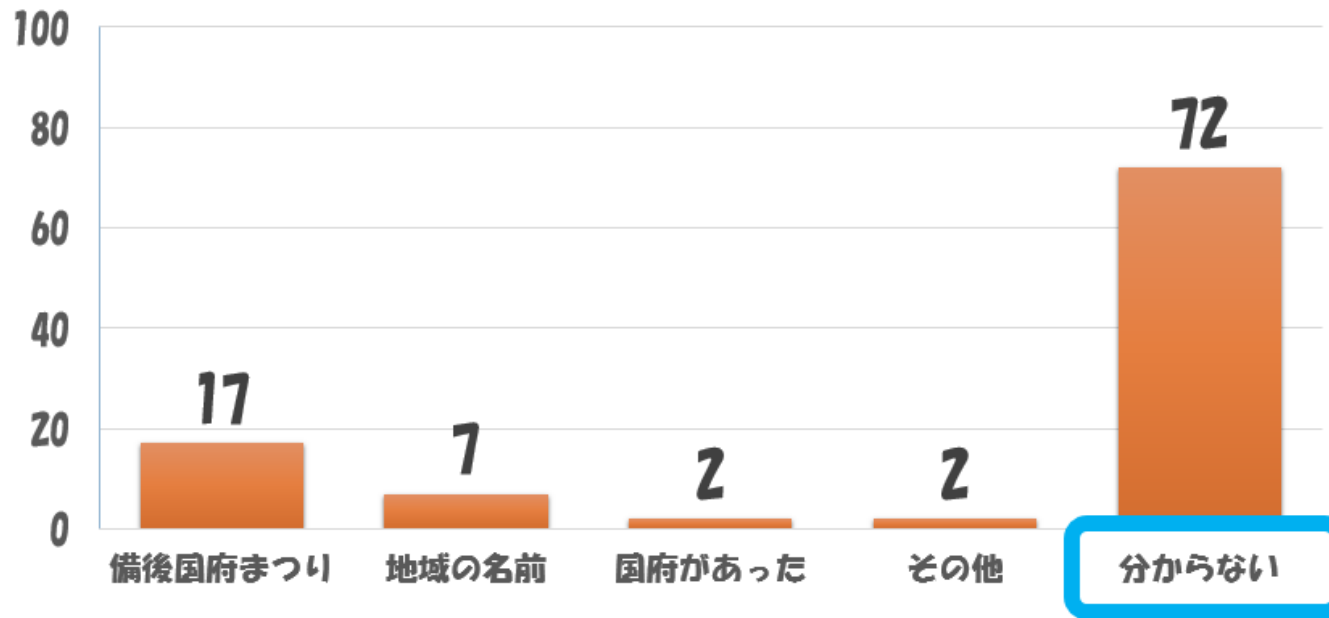


第6学年「備後国府」遺跡発掘プロジェクト～府中の宝を未来へつなごう！広がる輪！～

⑥第2回研究推進協議会 研究報告内容

1 今年度の取組の進捗状況について

「備後国府」について知っていることを教えてください。



第6学年「備後国府」遺跡発掘プロジェクト～府中の宝を未来へつなごう！広がる輪！～

⑥第2回研究推進協議会 研究報告内容

1 今年度の取組の進捗状況について



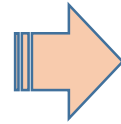
第6学年「備後国府」遺跡発掘プロジェクト～府中の宝を未来へつなごう！広がる輪！～

⑥第2回研究推進協議会 研究報告内容

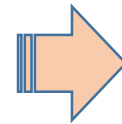
1 今年度の取組の進捗状況について

第6学年の開発単元 ポイント①

課題の設定



情報の収集
整理・分析



まとめ・表現



「自分たちに何かできないか？」

「自分たちで広めていこうや！」

修正

第6学年「備後国府」遺跡発掘プロジェクト～府中の宝を未来へつなごう！広がる輪！～

⑥第2回研究推進協議会 研究報告内容

1 今年度の取組の進捗状況について

第6学年の開発単元 ポイント②

古代米の栽培



第6学年「備後国府」遺跡発掘プロジェクト～府中の宝を未来へつなごう！広がる輪！～

⑥第2回研究推進協議会 研究報告内容

1 今年度の取組の進捗状況について

(2)今年度, 新しく開発を行っている単元の実践紹介

**第6学年 「備後国府」遺産発掘プロジェクト
～府中の宝を未来へつなごう！広がる輪！～**

**第8学年 府中市「キャリア体験学習」
～企業・しごとを知り, 創造力を働かせる～**

⑥第2回研究推進協議会 研究報告内容

1 今年度の取組の進捗状況について

【内容】

夢や志の実現に向けて，創造力などを生かして果敢にチャレンジする人材として成長するよう，「人とのかかわり」や「体験活動」を通じて社会的・職業的自立のために必要な能力や態度を育成する地域ぐるみのキャリア教育の充実に取り組む。

生徒一人一人が体験を通して事業所の課題を発見し，探究的な活動を通して課題発見・解決学習に取り組む。



第8学年 府中市「キャリア体験学習」～企業・しごとを知り，創造力を働かせる～

⑥第2回研究推進協議会 研究報告内容

1 今年度の取組の進捗状況について



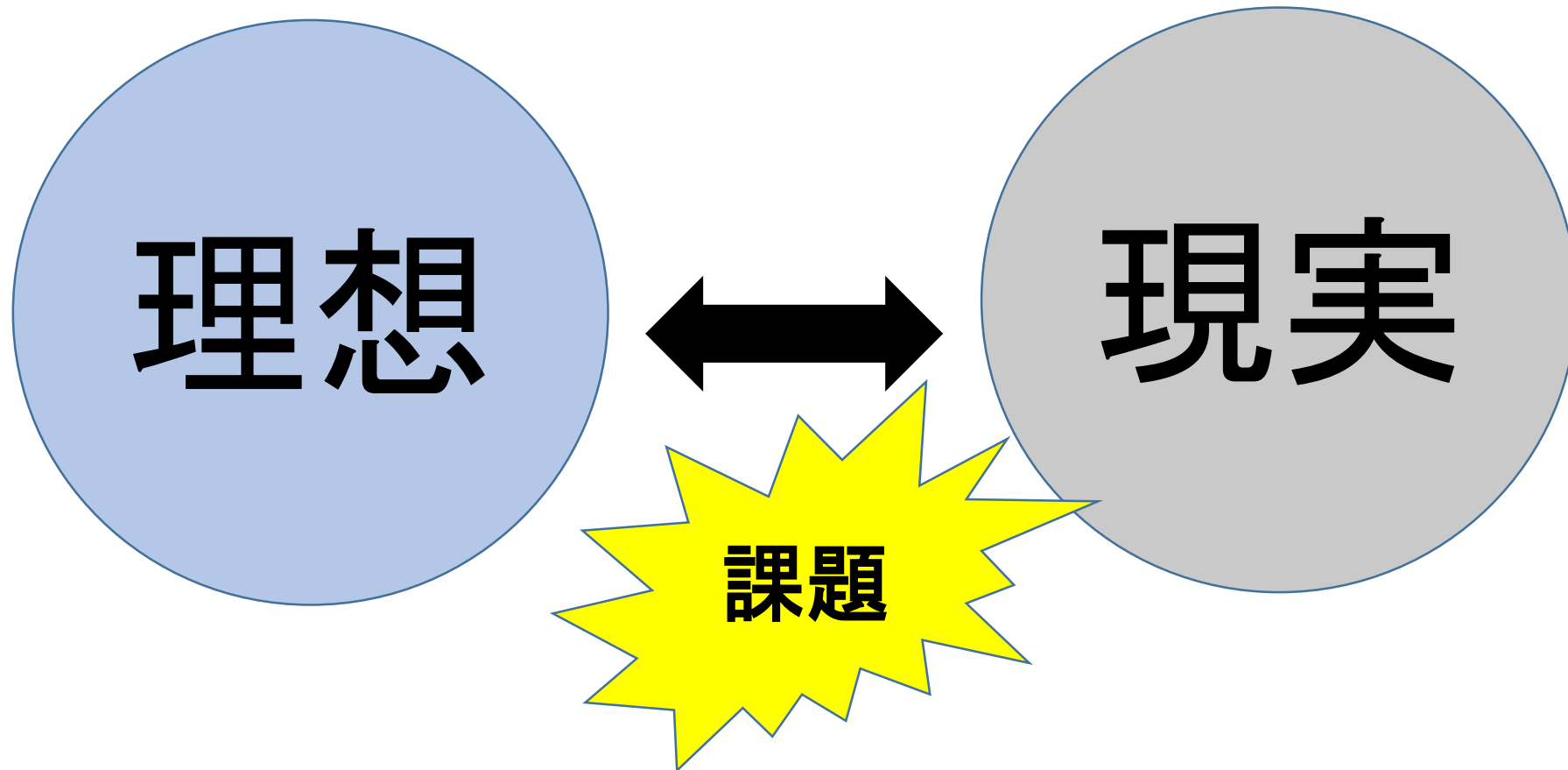
青翔開智学園の「課題解決型職場体験」

- ① 2～4人の探究チームを組む
- ② 課題発見の演習として、学校の課題を見つけ改善策を考える
- ③ 職場体験2日の中に、企業のデータを取ったり社長・従業員にインタビューしたりする時間をもらう
- ④ チームごとに課題を見つけ、課題の解決に向けたプレゼンを考える
- ⑤ 10月～11月の中間発表で、社長ではなく従業員にプレゼンを行い、課題の再設定等を行う
- ⑥ 最終的には年度末に、社長に企業の課題を解決するプレゼンを行い改善策を評価していただく

第8学年 府中市「キャリア体験学習」～企業・しごとを知り、創造力を働かせる～

⑥第2回研究推進協議会 研究報告内容

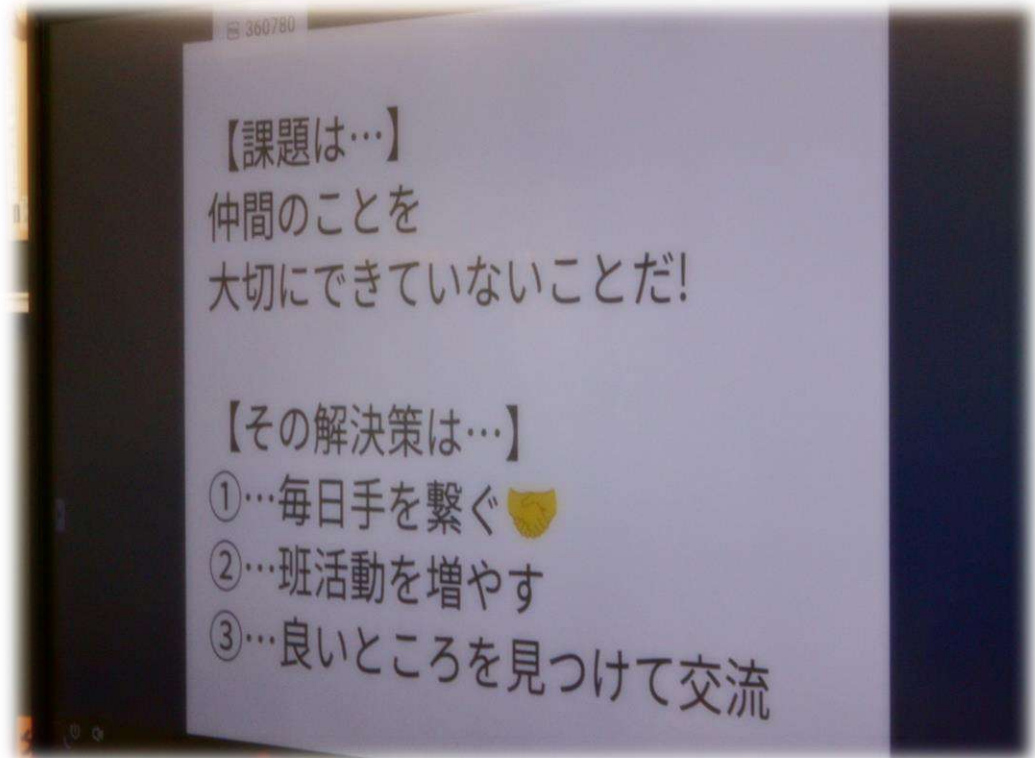
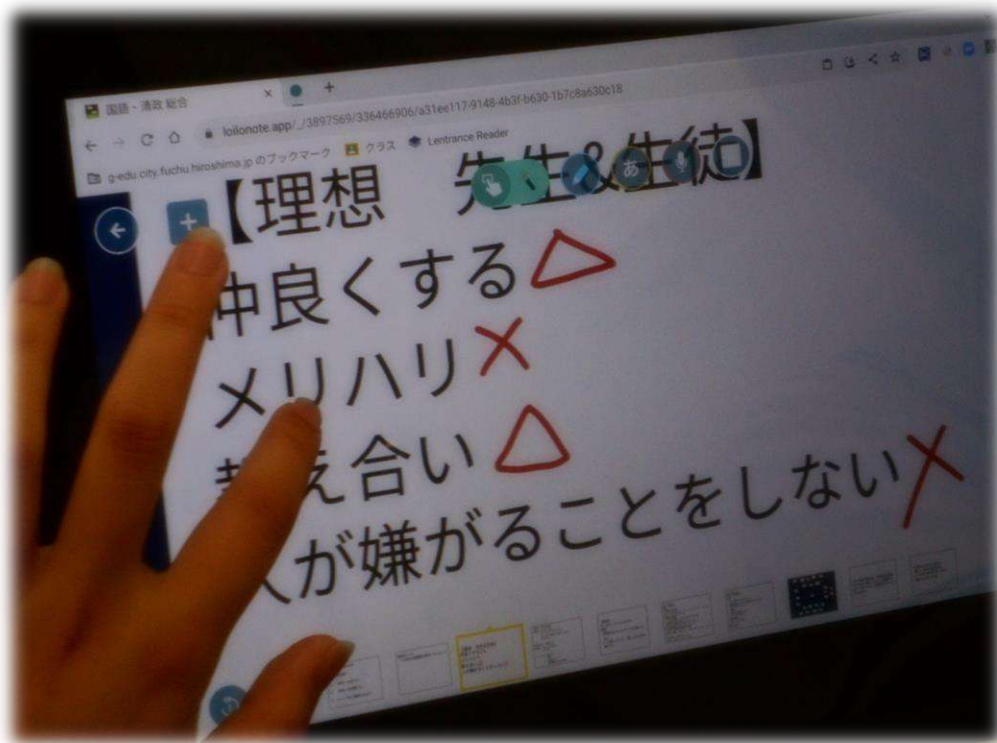
1 今年度の取組の進捗状況について



第8学年 府中市「キャリア体験学習」～企業・しごとを知り，創造力を働かせる～

⑥第2回研究推進協議会 研究報告内容

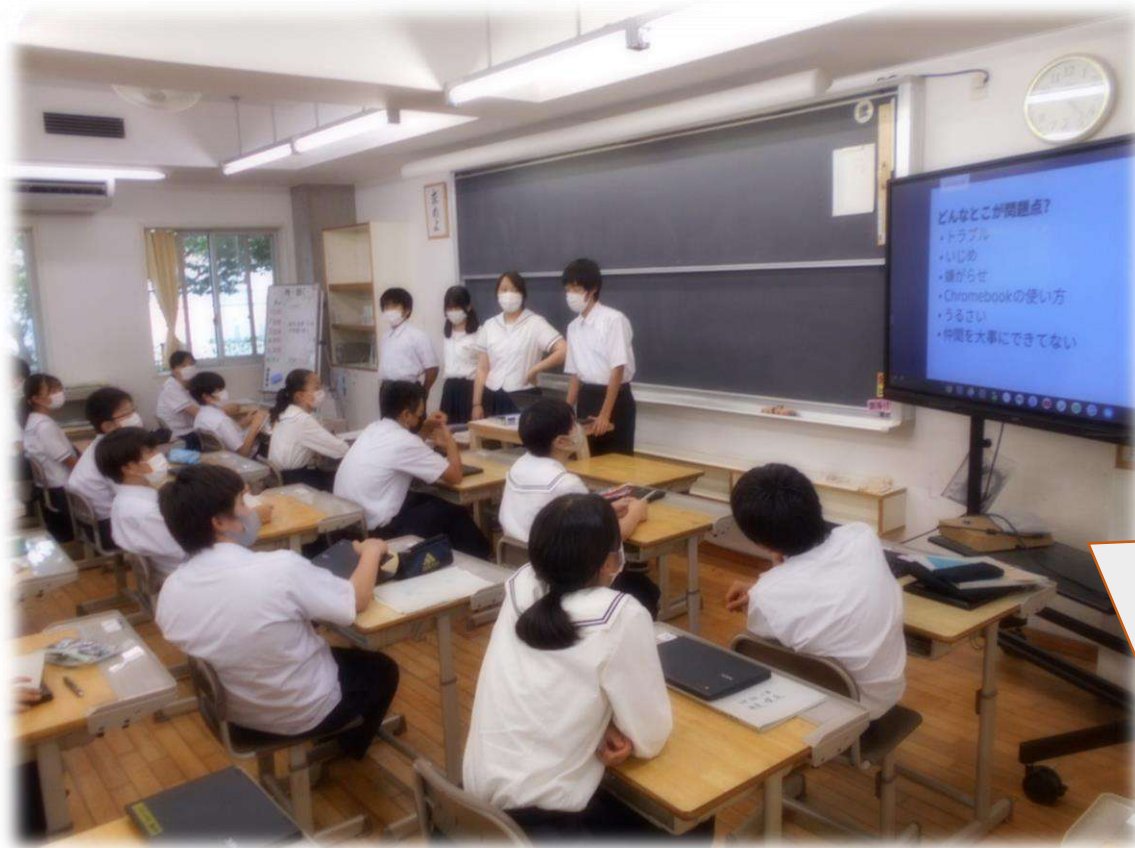
1 今年度の取組の進捗状況について



第8学年 府中市「キャリア体験学習」～企業・しごとを知り，創造力を働かせる～

⑥第2回研究推進協議会 研究報告内容

1 今年度の取組の進捗状況について



職場体験後も同じように、

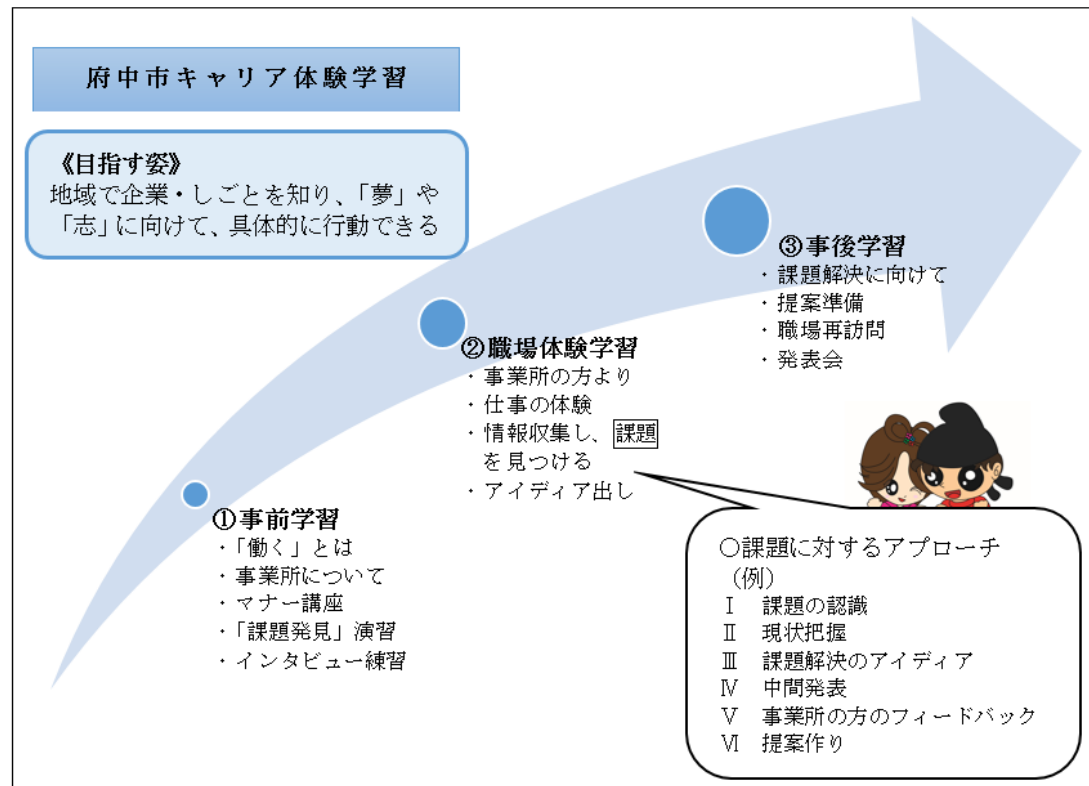
- ①「理想」と「現実」のギャップから、職場の課題を発見する。
- ②課題に対する解決策を考える。
- ③解決策を、職場の従業員さんにプレゼン発表する。（中間発表）
- ④解決策の見直し・修正
- ⑤解決策を、職場の社長さんにプレゼン発表する。

第8学年 府中市「キャリア体験学習」～企業・しごとを知り、創造力を働かせる～

⑥第2回研究推進協議会 研究報告内容

1 今年度の取組の進捗状況について

イメージ図



コミュニケーション力

思考力 活用力

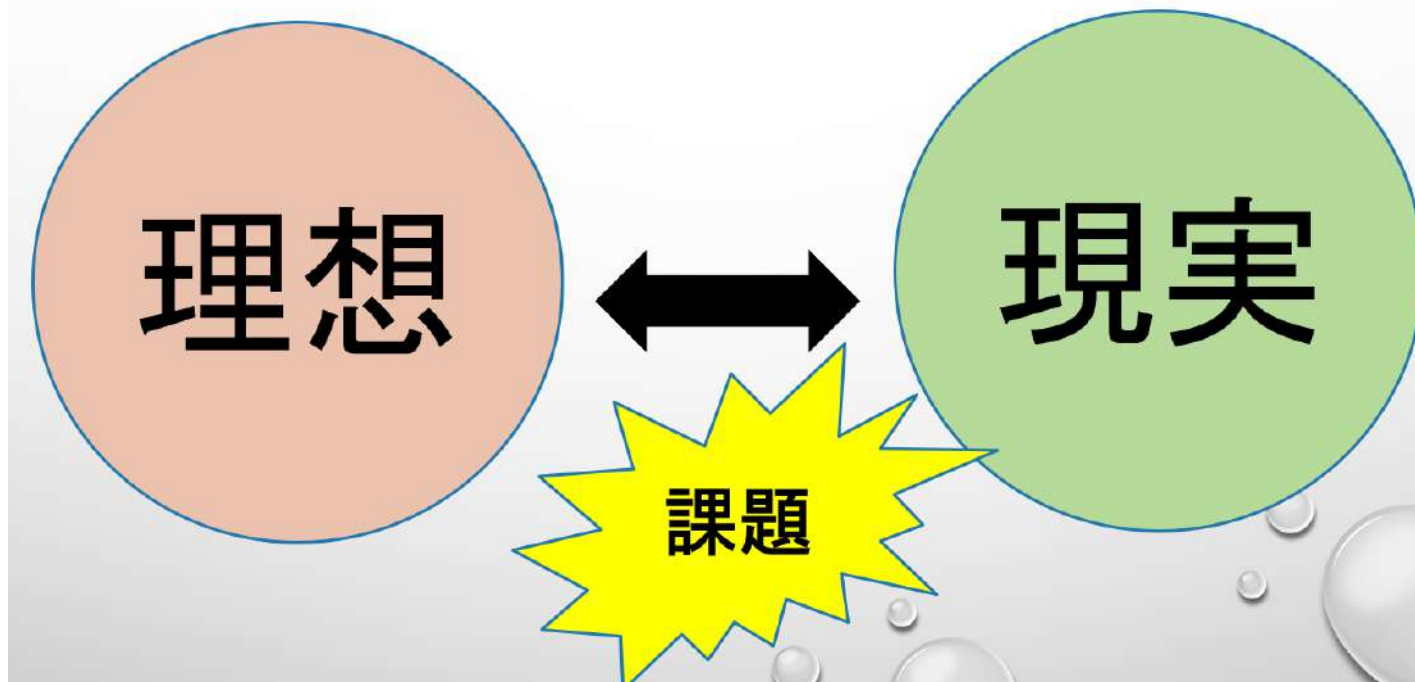
創造力

第8学年 府中市「キャリア体験学習」～企業・しごとを知り、創造力を働かせる～

⑥第2回研究推進協議会 研究報告内容

1 今年度の取組の進捗状況について

第8学年の開発単元 ポイント



第8学年 府中市「キャリア体験学習」～企業・しごとを知り，創造力を働かせる～

⑥第2回研究推進協議会 研究報告内容

2 今後の取組について

(1) 自己調整力の育成について

頑張ってきた
自分の学びを
ふり返って
価値付け

足りないこと
に気付いたら
修正して
再挑戦

自己調整力

教師主導

ではなく

児童生徒主体

⑥第2回研究推進協議会 研究報告内容

2 今後の取組について

【これから、生活科及び総合的な学習の時間を進める時にすること】

①課題を意識させるため、黒板には本時の課題の前に単元課題を必ず提示する！

→単元課題に立ち返らせ、それを解決するために本時で何をするのか？を意識させる。

②授業終わりのふり返りをしっかりと書かせる！

→最低でも「分かったこと」「分からなかったこと」「次回は〇〇したい」の3視点でふり返りを書かせる。（ノートに書かせる、学びゲットを使う・・・など）

⑥第2回研究推進協議会 研究報告内容

2 今後の取組について

(2) 教職員の声より

- ゲストティーチャーを招いて、体験的に学習を進めることができた。
- chromebookを用いて観察記録や学習内容の整理を行うことができた。
- 表現方法を自己決定させ、ロイロノートや動画撮影、模造紙新聞や図鑑など様々な形でまとめることができた。
- 地域の特色を生かした学習(府中味噌づくり体験)を実施することができた。また、事後指導として、新聞やポスターにまとめ、クラスで発表することができた。
- 発表がクラスにとどまってしまった。
 - 参観日で保護者の方にも発表する機会を設ければよかった。
- 自分でごみのことについて関心をもって自主勉強などで調べ学習をする児童がいたが、それを全体につなげることができなかった。
- 課題設定の学習活動場面において、「何がしたいか？」から始めたため、未だに「探究課題」に出会えていない。

⑥第2回研究推進協議会 研究報告内容

2 今後の取組について

(2) 教職員の声より (困っていること)

- ・教師側の計画と子どもがしたいことのすり合わせをどうしていけばよいか。
- ・子どものしたいことを指導計画の中にどのように取り入れていけばよいか。
- ・児童が本気で探究するためには、子供の「〇〇したい！」「〇〇しなきゃ！」という切羽詰まった思いが必要だと思うが、そんな思いをどうやって引き出していけばよいか。
- ・自分事として捉えるためには、諸問題に自分の生活を脅かされる体験が必要なのか。

⑥第2回研究推進協議会 研究報告内容

2 今後の取組について

「探究」を意識!

**児童生徒が
つくり出す**

教師主導



ファシリテーター

「わくわくする探究」を目指して!

⑦ 第2回校内研修（令和4年8月5日）

• 研修の流れ

①全体計画見直しの理由



②昨年度定めた資質・能力の扱いについて

③分担作業(観点の構成要素ごとにグループに分かれ見直し)

⑧ 第3回校内研修（令和4年8月25日）

総合的な学習の時間「全体計画」

・ 分担作業の続き

＜目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力＞														
学 年	第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		第7学年		第8学年		第9学年	
カテゴリー (出会うべきヒト・モノ・コト)	町づくり		環境		食		歴史		健康		キャリア		(個人探究)	
探究課題	年寄り府中市の特産物にしよると努力する人々の思いや願い		給食から出るごみや地域のクリーンセンターに係られるごみについての課題		諸田ごぼろに関わる人々の思いや願い		信濃国府の歴史や文化の伝承に向けた取組についての課題		健康を守るための考え方や健康法についての課題		働く人の思いや願い		自己を振り返り自分自身の興味関心のあることに関する課題	
資質・能力	評価の観点	観点の構成要素	→											
知識 及び 技能	知識 ・ 技能	知識												
		技能												
		探究的な学習のよさの理解												
思考力	思考	課題設定												

9年生が最終ゴール！

義務教育学校の特色を生かし、ゴールに向かうまでの区切りをステージごとにまとめるのか、それとも各学年で段階的に学習評価を示していくのかをグループで検討。

⑨ 学校サポート3（令和4年8月26日）

- 授業参観(5年1組)



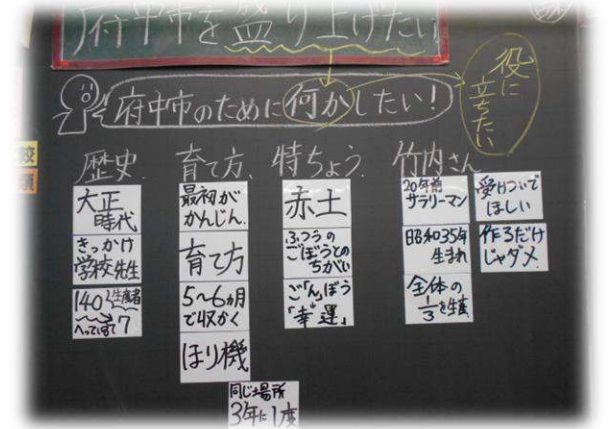
- 事後協議



- 指導助言 広島県立教育センター 指導主事 長野真美

⑩ 学校サポート4（令和4年9月21日）

- 研究授業(5年1組)
- 全体講話



講師 広島県立教育センター 指導主事 長野真美

「探究できる材の探し方と，単元観及び単元の目標の作成方法について」

⑪ 第3回研究推進協議会（令和4年10月26日）

- 研究報告
- 研究授業(6年1組)
- 指導助言

広島県教育委員会 指導主事 飯干 新

指導助言内容

- ①本時の授業について
- ②児童生徒主体の探究活動において、教師が意図した学習を効果的に生み出すにはどうすればよいか。

⑪第3回研究推進協議会 研究報告内容

1 今年度の取組の進捗状況について

- (1) 総合的な学習の時間の全体計画の見直しについて
- (2) 今年度、新しく開発を行っている単元の実践紹介

2 今後の取組について

⑪第2回研究推進協議会 研究報告内容

1 今年度の取組の進捗状況について

(1) 総合的な学習の時間の全体計画の見直しについて



① 全体計画の9年生を見る

② 系統性を考える

→9年生は単独？他学年とくっつく？

→縦の区切りは学年ごと、ステージごと...など

※担当の個所を、資料を参考にグループ
で検討

- ・「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料
- ・初等教育資料（2020年2月号）
総合的な学習の時間における学習評価の改善と指導の充実

学年でグループに分かれて見直し作業（職員全体研修）

⑪第2回研究推進協議会 研究報告内容

1 今年度の取組の進捗状況について

昨年度、職員全体研修で定めた生活・総合的な学習の時間で育成する資質・能力

国が示す資質・能力	昨年度定めた資質・能力	観点
知識及び技能	知識及び技能	知識
		技能
		探究的な学習の良さ
思考力、判断力、表現力等	課題発見・解決力	課題設定
		情報収集
		整理・分析
		まとめ・表現
学びに向かう力、人間性等	<u>コミュニケーション能力</u>	言語能力
	粘り強く学習に取り組む態度	協働性
		自己調整力
		メタ認知

**資質・能力
を構成する
要素として
整理！！**

⑪第2回研究推進協議会 研究報告内容

1 今年度の取組の進捗状況について

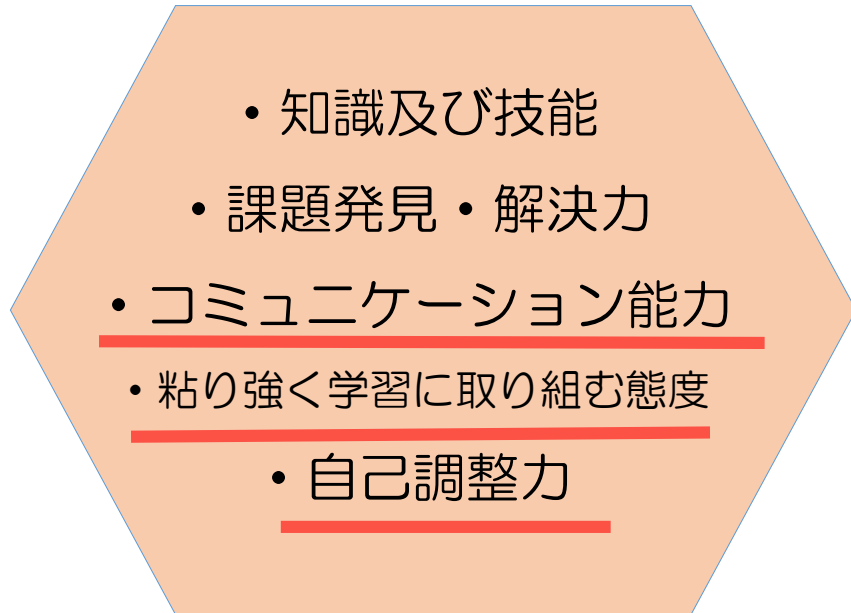
見直し後の資質・能力とその構成要素

国が示す資質・能力	資質・能力を構成する要素
知識及び技能	知識
	技能
	探究的な学習の良さ
思考力、判断力、表現力等	課題設定
	情報収集
	整理・分析
	まとめ・表現
学びに向かう力、人間性等	<u>自己理解・他者理解</u>
	<u>主体性・協働性</u>
	<u>社会参画・将来展望</u>

足りなかったもので、
追加した要素

⑪第2回研究推進協議会 研究報告内容

1 今年度の取組の進捗状況について



生活科・総合的な学習の時間に限らず、学校教育全体で育成を目指したい力として扱う。

昨年度、職員全体研修で定めた資質・能力

⑪第2回研究推進協議会 研究報告内容

1 今年度の取組の進捗状況について

9年生の評価規準(ゴール)

学びに向かう力、人間性等

【自己理解・他者理解】【主体性・協働性】【社会参画・将来展望】

主体的に学習	自己理解 他者理解	【自己理解・他者理解】 自己	【自己理解・他者理解】 他者	【自己理解・他者理解】 自己	【自己理解・他者理解】 自己 他者	【自己理解・他者理解】 自己 他者	【自己理解・他者理解】 自己 他者	【自己理解・他者理解】 自己・他者	【自己理解・他者理解】 自己・他者	【自己理解・他者理解】 他者の意見や異なる意見を尊重し、自己の考えをより深めている。
	主体性	【主体性・協働性】	【主体性・協働性】	【主体性・協働性】	【主体性・協働性】	【主体性・協働性】	【主体性・協働性】	【主体性・協働性】	【主体性・協働性】	【主体性・協働性】 自他のよさを生かしながら協力し、活動を振り返り、課題解決に向けて自分の意志で粘り強く取り組んでいる。
度										【社会参画・将来展望】 【主体性・協働性】 実社会や実生活の問題の解決に向けて、今後の学習や生活とのむすびつきを積極的に考えたり、社会に参画したりしようとしている。

一つのみ取り上げる場合
【自己理解・他者理解】
取り上げる方のみに下線。

二つとも取り上げる場合
【自己理解・他者理解】
・重視: 実線下線
・もう一方: 点線下線

⑪第2回研究推進協議会 研究報告内容

1 今年度の取組の進捗状況について

(1) 総合的な学習の時間の全体計画の見直しについて

全体計画の見直し① (8月～)

各グループでの見直し

- ・課題発見
- ・情報収集
- ・整理・分析
- ・まとめ・表現
- ・自己理解・他者理解
- ・主体性・協働性
- ・社会参画・将来展望

単元の目標 単元観の作成 (10月～)

各学年で、テーマの検討や材の研究を行う。来年度の単元計画作成に向けて、単元の目標と単元観を作成する。

全体計画の見直し② (12月～)

各学年で作成した、単元の目標と単元観をもとに、探究メンバーで

- ・知識
- ・技能

の学習評価を見直し、全体計画を作成する。

全体計画の完成 (12月～)

全体計画の完成に向けて、探究グループで最終調整。



全体計画をもとに、来年度の**単元計画作成**。

【長野指導主事に行っていた研修内容】

・単元計画作成のポイント

～探究できる材の探し方と、単元観及び単元の目標の作成方法について～

⑪第2回研究推進協議会 研究報告内容

1 今年度の取組の進捗状況について

(2)今年度, 新しく開発を行っている単元の実践紹介

**第5学年 府中市の「食」
～諸田ごぼうを守りたい～**

⑪第2回研究推進協議会 研究報告内容

1 今年度の取組の進捗状況について

第5学年 府中市の「食」～諸田ごぼうを守りたい～

【内容】

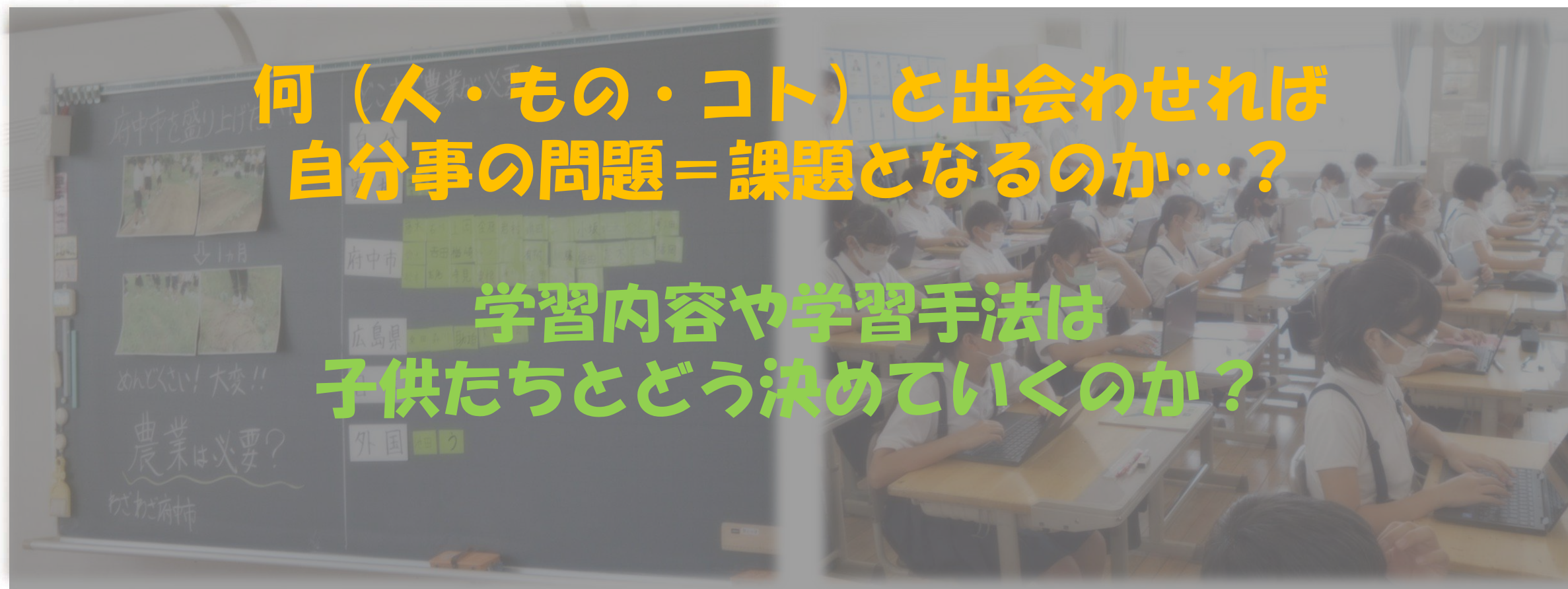
諸田ごぼうに関わる人々の思いや願いに出会う中で課題を見つけ探究することを通して、問題を解決するためには、それに関わる人々がそれぞれの立場でお互いに協力し合うことが大切であることに気づき、自分も地域の一員として地域のために進んで行動しようとすることができるようにする。



⑪第2回研究推進協議会 研究報告内容

1 今年度の取組の進捗状況について

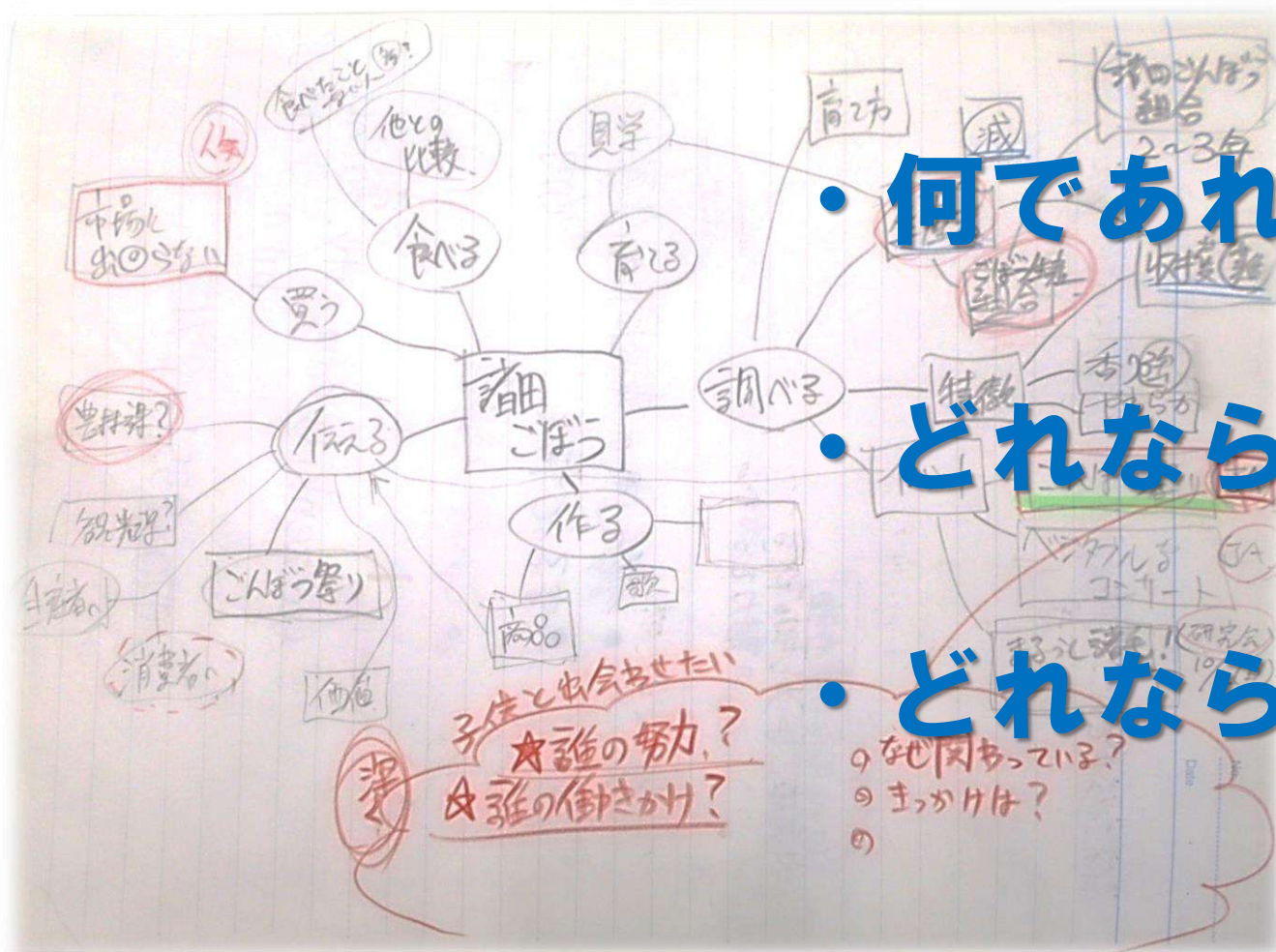
第5学年 府中市の「食」～諸田ごぼうを守りたい～



⑪第2回研究推進協議会 研究報告内容

1 今年度の取組の進捗状況について

第5学年 府中市の「食」～諸田ごぼうを守りたい～



• 何であれば学習が深まるのか？

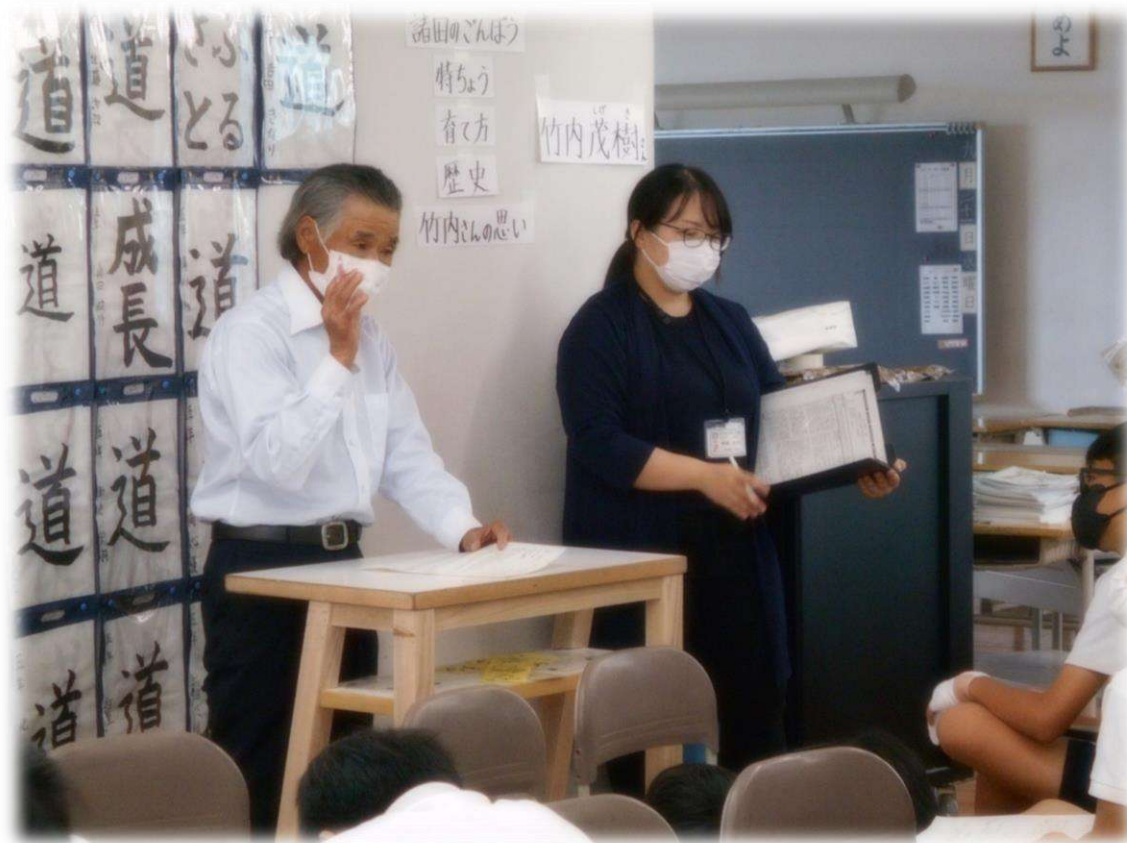
• どれならやってみたい？

• どれなら子供が乗るか…？

⑪第2回研究推進協議会 研究報告内容

1 今年度の取組の進捗状況について

第5学年 府中市の「食」～諸田ごぼうを守りたい～



ごんぼう組合会長 竹内さんのお話を聞く5年生

⑪ 第2回研究推進協議会 研究報告内容

1 今年度の取組の進捗状況について

第5学年 府中市の「食」～諸田ごぼうを守りたい～



課題：「自分(たち)は、何をしたらよいか??」

⑪ 第2回研究推進協議会 研究報告内容

1 今年度の取組の進捗状況について

第5学年 府中市の「食」～諸田ごぼうを守りたい～

第5学年の開発単元 ポイント①

課題の設定場面



テーマだけ与えられても…



**この材なら、探究できる！
どう出会わせるかが勝負！**



学年団

⑪第2回研究推進協議会 研究報告内容

1 今年度の取組の進捗状況について

第5学年 府中市の「食」～諸田ごぼうを守りたい～

第5学年の開発単元 ポイント①

新年度のスタート
までに実施！

学年で今年度の反省, ふり返り

テーマの見直し, 材の研究

単元計画の作成

次年度の学習のスタート

⑪第2回研究推進協議会 研究報告内容

1 今年度の取組の進捗状況について

第5学年 府中市の「食」～諸田ごぼうを守りたい～

第5学年の開発単元 ポイント②

「目的意識」・「相手意識」



- ①何のために → 諸田ごぼうの生産量が減っているという問題を解決するため
- ②誰に → 府中の地域のみなさまに
- ③何を → 諸田ごぼうの価値を知ってもらい、地域の一員として課題の解決に向けたアピール方法を提案する。

⑪第2回研究推進協議会 研究報告内容

2 今後の取組について

全体計画の見直し及び単元計画の作成

「**本物の探究**」を目指した学習づくり

→何が出来るようになるか・何を学ぶか・どのように学ぶか

⑪ 第2回研究推進協議会 研究報告内容

2 今後の取組について

「探究」を意識!

**児童生徒が
つくり出す**

教師主導



ファシリテーター

「わくわくする探究」を目指して!

⑪ 第2回研究推進協議会 研究報告内容

2 今後の取組について

課題設定

なんでなんだろう？

調べてみたい！

地域の人たちの助けになりたい！

やった，この発見はすごいぞ！



探究の材料
= **地域の人・もの・コト**

⑪ 第2回研究推進協議会 研究報告内容

2 今後の取組について

探究の材料

とかがかわる！

= 地域の人・もの・コト



2 今後の取組について

探究の材料

とかがかわる！

= 地域の人・もの・コト

○自分が住んでいる地域のことが好きです。

90.9%

※89.3%(R3 9月)



⑪第2回研究推進協議会 研究報告内容

2 今後の取組について

探究の材料

とかがかわる！

= 地域の人・もの・コト

○地域のことを学習や行事などを通して、
発信することができています。

69. 2% (R3 9月) → 70. 4% (R4 9月)

○地域や社会をよくするために何をすべきか
を考えることができる。

62. 1% (R3 9月) → 71. 4% (R4 9月)

⑪ 第2回研究推進協議会 研究報告内容

2 今後の取組について

まとめ表現

地域のために何をしよう

良さを広めたい！

知ってもらいたい！

色々な人に地域を知ってもらおう！



わくわく わくわく



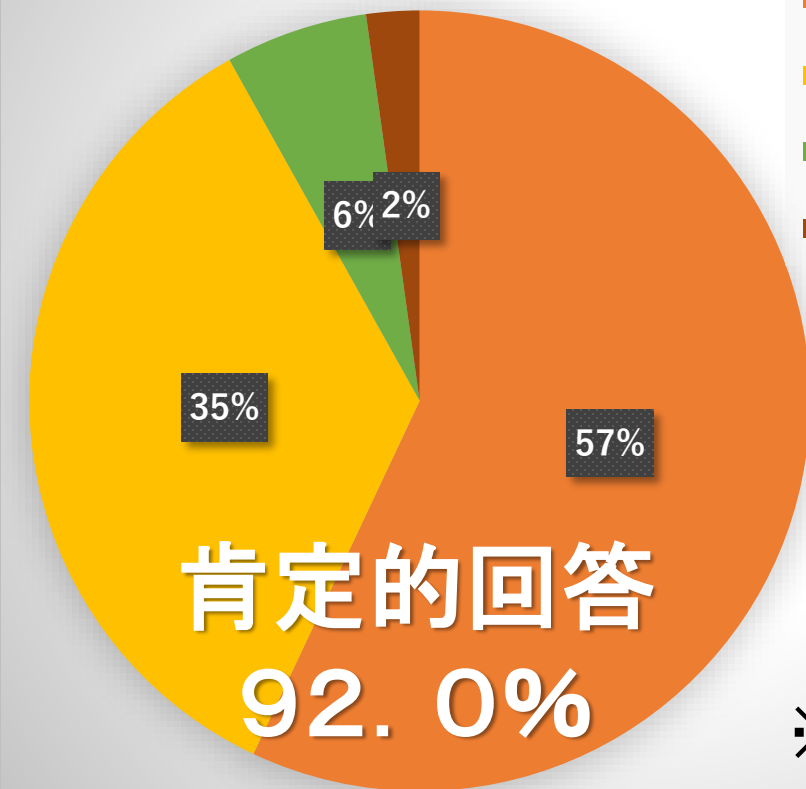
⑪第2回研究推進協議会 研究報告内容

2 今後の取組について

児童生徒の意識調査結果 (9月生活アンケートより)

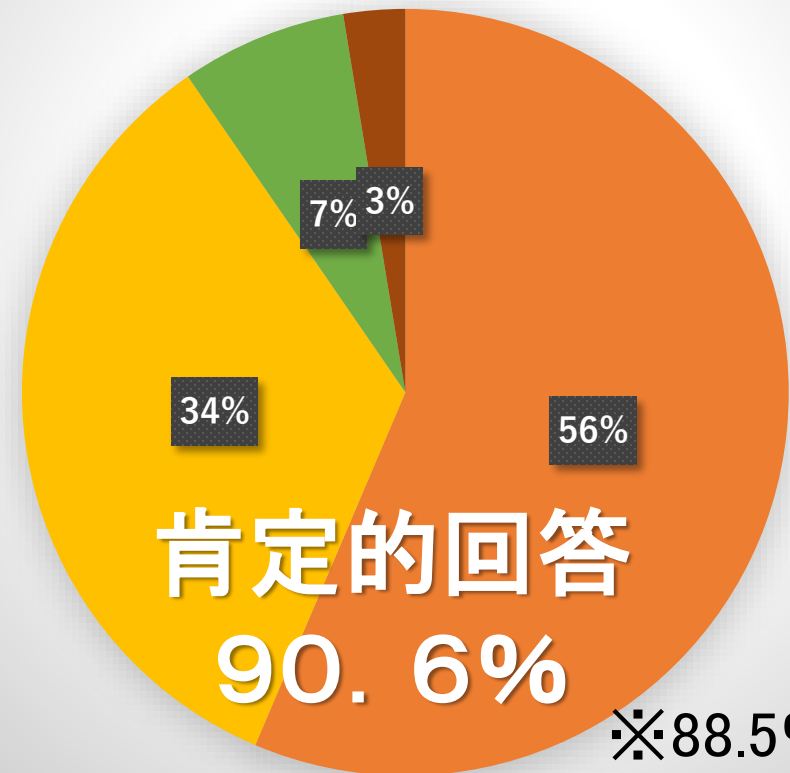
課題の解決に向けて、途中であきらめず、
最後まで取り組んでいます。

- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない



※87.7%(R3 9月)

課題の解決に向けて、友達と
協力して取り組んでいます。



※88.5%(R3 9月)

⑫ 学校サポート5（令和5年1月25日）

- 研究授業(5年1組)
- 指導助言 広島県立教育センター 指導主事 長野真美
- 演習

(単元計画作成について、各学年1名ずつ参加)



⑬ 第4回研究推進協議会（令和4年2月15日）

- 授業参観(1年3組、6年2組)
- 協議

広島県教育委員会 指導主事 飯干 新

広島県東部教育事務所 指導主事 堂久保 敬太



協議の内容

作成した単元計画について、各学年の代表者が協議会に出席し、他学年の単元計画について気付いたことや自分の学年に生かせる点を探す

- 研究報告(報告資料より)